

公共工事の品質確保に向けた新たな取組みについて

技術管理課

1 社内検査の徹底

目的	請負人による自主施工の原則に鑑み、請負人が実施する社内検査を徹底することで、品質確保に対する請負人の自己責任の向上を促し、より一層の品質確保を図る。													
	従前	H21. 7. 16以後に入札の公告等を行う工事												
対象工事	すべての工事	<u>下請総額3千万円未満 (監理技術者の配置を必要としない工事)</u>	<u>下請総額3千万円以上 (監理技術者の配置を必要とする工事)</u>											
資格要件	現場代理人、主任技術者以外の者で、請負人があらかじめ指定した職以上にある者	従前どおり	現場代理人、主任技術者、 <u>監理技術者</u> 以外の者で、 <u>10年以上の現場経験を有し、かつ、技術士又は1級土木施工管理技士の資格を有した者、又はこれと同等の能力と経験を有する者(社外の者でも可)</u>											
実施基準	主要な施工の区切り、工事の重要な部分（請負人の任意）	主要な施工の区切り、工事の重要な部分（請負人の任意）、 <u>段階確認一覧表の項目（必須）</u>	主要な施工の区切り、工事の重要な部分（請負人の任意）、 <u>段階確認一覧表の項目（必須）</u>											
		段階確認項目の例（共通仕様書より抜粋） <table border="1"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>確認時期</th> <th>確認項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">既製杭工</td> <td>打込時</td> <td>使用材料、長さ、溶接部、支持力</td> </tr> <tr> <td>打込完了時</td> <td>基準高、偏心量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重要構造物</td> <td>床掘掘削完了時</td> <td>支持地盤（直接基礎）</td> </tr> <tr> <td>鉄筋組立完了時</td> <td>使用材料、設計図書との対比</td> </tr> </tbody> </table>		工種	確認時期	確認項目	既製杭工	打込時	使用材料、長さ、溶接部、支持力	打込完了時	基準高、偏心量	重要構造物	床掘掘削完了時	支持地盤（直接基礎）
工種	確認時期	確認項目												
既製杭工	打込時	使用材料、長さ、溶接部、支持力												
	打込完了時	基準高、偏心量												
重要構造物	床掘掘削完了時	支持地盤（直接基礎）												
	鉄筋組立完了時	使用材料、設計図書との対比												
検査結果	その都度、報告	その都度、 <u>提示検査時に提出</u>	その都度、 <u>提示検査時に提出</u>											
報告様式	請負人の任意様式	<u>所定の様式（請負工事社内検査実施結果報告書）</u>	<u>所定の様式（請負工事社内検査実施結果報告書）</u>											

2 現場監督の強化

目的	発注者が行う現場監督を強化することにより、公共工事のより一層の品質確保を図る。	
	従前	H21. 7. 16以後に入札を行う工事
名称	重点的な監督業務の実施（試行）	監督業務の強化
対象工事	監督強化価格を下回った工事	工事件数の10%程度（任意抽出）
内容	段階確認、施工状況把握の頻度を増加	同左